

パフォーマンステストを活用した指導の充実に向けて

中学校英語科の授業で…

生徒の話す力を伸ばしていますか？

事前に用意した原稿等を用いて発表する活動に終始するのでは即興的に話す力が身に付かない…



自分の意見や感想を求められて、その場で話すことができるようになるには、どのような工夫をすればいい？



これからの英語教育



「話すこと」に関する発信力を高めるために、指導方法を工夫するとともに、筆記テストだけでなくパフォーマンス評価を取り入れていく必要があります。

「パフォーマンステスト実施の手引き（CD-R）」を御活用ください。

特長Ⅰ 学年ごとに実施できるスピーキングテストを掲載

- 1年生では「自己紹介」、2年生では、「電話でのやりとり」及び「東京の見どころ紹介」、3年生では「日本文化紹介」をテーマとしたスピーキングテストです。「準備して行う発表」と「即興的なやり取り」の両方を評価する構成となっています。

特長Ⅱ テストを実施する前に行う効果的な指導例を紹介

- 各テストで目指す生徒の発話イメージを明確にするとともに、そのイメージを実現するために行う授業での単元指導例を紹介しています。

特長Ⅲ 平均点を自動集計できる「採点結果集計シート」が付属

- テストの実施後に、付属の「採点結果集計シート」を活用し、採点の結果を入力することで学級や学年の平均点を自動集計できます。

生徒の変容を把握し、生徒の力を更に伸ばすための指導の充実に向けて、活用いただけるようになっていきます。「パフォーマンステスト実施の手引き（CD-R）」が学校に届いていない場合は、教育委員会にお問い合わせください。

「東京の見どころ紹介」をテーマにしたスピーキングテスト(例)

テストの構成

Part A 面接官の前で「東京の見どころ」について Show and Tell を行う。

※生徒一人当たりの解答は 20 秒程度

Part B 面接官からの三つの質問に答える。

※生徒一人当たりの会話は 60 秒程度

目指す生徒の発話イメージ

Part A

Palm is a big shopping street. It is famous. There are a lot of shops. You can buy famous Japanese sweets there. I often go there with my parents.

Part B

Q: Do you like shopping?

A: Yes, I do.

Q: Are there any good restaurants there?

A: I know a famous Japanese restaurant there.

Q: How can I get there?

A: Take the □□ Line and get off at □□ Station.

各パートの採点基準(例)

Part A

3点 東京のお薦めの場所について、由来や見所を含め3文以上で話した。

2点 お薦めの場所について、1～2文程度話したが、情報が断片的である。

1点 お薦めの場所について話した内容が単語レベルであり、情報が乏しい。

Part B

三つの質問が全て (A) であれば3点、全て (C) であれば1点、それ以外は2点とする。

(A) 質問に対応した内容となっていて、正しい文で答えている(適切さと正確さ)。

(B) 質問に対応した内容であるが、正しい文の形でなく、単語レベルである(適切さ)。

(C) 質問に対応した内容になっていない(時間切れも含む)。

既習事項等

- ・「～がある」などの存在を表す表現や場所を示す表現
- ・「何を見るとよいか」や「何を食べるとよいか」など、地域を紹介する際に使える語彙や表現

実施時期

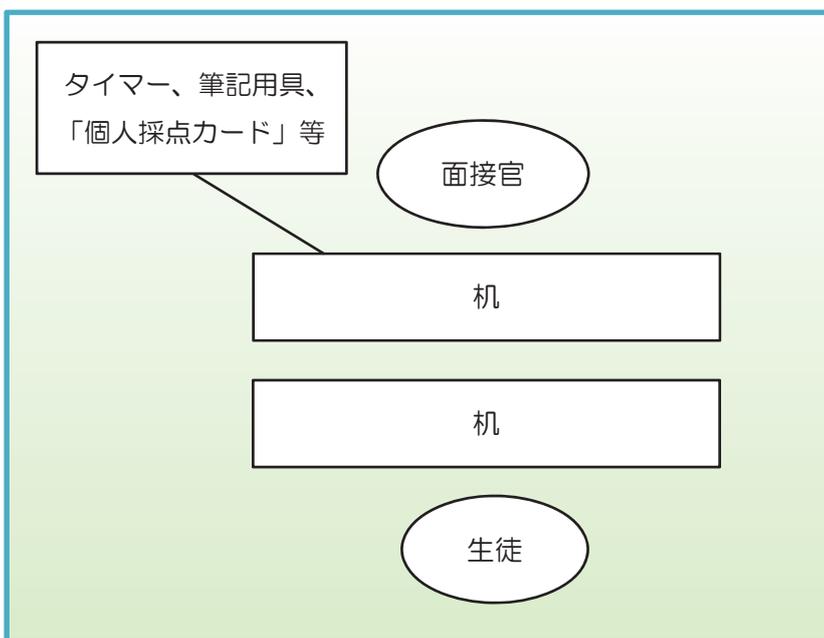
第2学年の4月から3月までの中で任意に時期を設定して実施

テストの実施までの準備

テスト実施計画作成の手順(例)

- 該当のテストを教科書のどの単元指導の後に行うかを考えます。
※その際、「パフォーマンステスト実施の手引き (CD-R)」の「テスト内容と関連する教科書の単元一覧」を参照してください。
- テストを実施する前に指導すべき内容を考え、自校で作成している学習到達目標や単元指導計画を見直し、必要に応じて修正します。生徒が既習事項や単元で学習した知識を生かしながらテストに臨めるように、指導と評価の一体化を図ります。
※その際、「パフォーマンステスト実施の手引き (CD-R)」の「テストの効果的な実施につなげる単元指導の例」を参照してください。
- 見直した学習到達目標や単元指導計画を実現できるように、週ごとの指導計画を作成します。ペアやグループでの活動を効果的に行うことで、生徒同士が互いに学び合える機会をつくるようにします。
- テストを実施する日程や実施体制を含めた計画を、教職員間で相談しながら決めるとともに、共通理解を図りながら準備を行います。
～共通理解を図りながら準備すること～
 - ・テストを実施する日程、テスト会場及び生徒の待機場所の確保
 - ・テストを行う英語教員の確保
 - ・テストを実施するに当たって、生徒一人当たりにかかる時間の確認
 - ・一つの学年で複数のクラスを時間差でテストを実施する場合、公平性を保つため、テスト内容を複数パターン化したものを用意するなど、事前に準備するものの確認

会場の設営(例)



当日までに準備するもの(例)

- 「個人採点カード」生徒分
- 実施の流れを示した資料 (教職員用・生徒用)
- ビデオカメラ (記録用)
- 会場表示
- タイマー
- 筆記用具 等



面接官用スクリプト(例)

生徒入室から試験開始まで ※採点対象外

【生徒入室時のやり取り】

T: Come in. Please sit down there.

(生徒が着席します。)

T: Hello. How are you?

(生徒が返答します。)

T: Fine, thank you.

Part A 面接官の前で Show and Tell を行う

T: OK, □□-san, now let's start Part A. You are going to talk about Tokyo. Please show me a place in Tokyo and tell me about it.

S: (生徒が解答します。採点してください。)

3点 東京のお薦めの場所について、由来や見所を含め3文以上で話した。

2点 お薦めの場所について、1~2文程度話したが、情報が断片的である。

1点 お薦めの場所について話した内容が単語レベルであり、情報が乏しい。

T: Thank you.

Part B 面接官からの質問に答える

T: Now, let's start Part B. I am going to ask you three questions.

Are you ready? OK, let's begin.

Question 1: Do you like shopping?

S: (生徒が解答します。)

予想される生徒の発話 (A) Yes, I do.

(B) Yes.

(C) I like tennis.

T: Question2: Are there any good restaurants there?

S: (生徒が解答します。)

予想される生徒の発話 (A) I know a nice Japanese restaurant there. / Sorry, I don't know.

(B) Yes. / No.

(C) I like there.

T: Question3: How can I get there?

S: (生徒が解答します。)

- 予想される生徒の発話 (A) Take the □□ Line and get off at □□ Station.
(B) □□ Line. □□ Station.
(C) OK.

(Question1～3のやり取り全体を通して採点してください。)

三つの質問が全て (A) であれば3点、全て (C) であれば1点、それ以外は2点とする。

- (A) 質問に対応した内容となっていて、正しい文で答えている (適切さと正確さ)。
(B) 質問に対応した内容であるが、正しい文の形でなく、単語レベルである (適切さ)。
(C) 質問に対応した内容になっていない (時間切れも含む)。

テスト終了を伝える ※採点対象外

T: The test is over now. Thank you very much, □□-san. Have a nice day!

(生徒が退室します。)

(テスト終了後に、コミュニケーションに対する態度について、生徒の取組全体を振り返り、採点してください。)

- 3点 アイコンタクトや表情等で伝えようとしていて、とても意欲的である。
2点 アイコンタクトや表情等で伝えようとしていて、意欲的である。
1点 アイコンタクトや表情等が使われていないため、気持ちが伝わっていない。

生徒の解答が途中で滞る場合の対応

【解答時間内で言いよんどんだり沈黙したりする場合】※減点はしない。

10秒程度まで続いた時点で発話を促す。

(発話を促す表現例)

T: And...? / Is that all?

Shall I repeat the question? / Would you like to listen to the question again?

【発話を促した後、さらに言いよんどんだりして解答が終了しない場合】

10秒程度まで続いた時点で、その質問を打ち切り、次へ進む。

※それまでの解答内容で採点し、その採点結果から1点減じる。

(質問打ち切りの表現例)

T: OK, can I go to the next question?

～テストの効果的な実施につなげる単元指導例～

1 教科書本文の復習

「～がある」などの存在を表す表現や場所を示す表現を含む教科書本文の復習を通して、地域の見所を紹介する際に使える表現を理解する。



表現 There is a / an ~.
There are ~ s .

例文 There is a museum near my school.
There are many restaurants in this city.

2 「地域紹介」に関わる語彙や表現の学習

「見ることができる」ことや「食べることができる」ことなどを紹介するときに使う表現を理解する。



表現 You can see ~.
You can eat ~.
You can enjoy ~.

例文 You can see many temples there.
You can eat *okonomiyaki* there.
You can enjoy shopping there.

3 発表形式の原稿「東京の見所を紹介する文」を作成

これまでに学んだ表現を使って、東京の見所を紹介する文を作成する。紹介する際に使う写真や絵を用意する。



表現 建物などの名前 is a ~.
It is 形容詞.
There are ~s.
You can see / eat ~.
I often go there with~.

例文 Palm is a big shopping street.
It is famous.
There are a lot of shops.
You can eat Japanese sweets there.
I often go there with my parents.

4 Show and Tell で、作成した文を友達に紹介(その後、模擬インタビューを実施)

ペアやグループ間で発表し、情報の共有をする。聞き手は、発表された内容についてコメントや質問をし、発表者は、質問に答え、補足の説明を行う。



表現 Do you like ~?
Yes, I do. / No, I don't.
Are there any good ~s there?
I know a nice~.
What do you like to do there?
I like to buy ~.

例文 Do you like eating Japanese sweets?
Yes, I do.
Are there any good restaurants there?
I know a nice Japanese restaurant there.
What do you like to do there?
I like to buy *sakuramochi* there.

5 パフォーマンステスト

～平均点を自動集計できる「採点結果集計シート」～

「パフォーマンステスト実施の手引き (CD-R)」には、「採点結果集計シート」が入っています。テスト時に「個人採点カード」に記載した生徒一人一人の採点結果 (3・2・1) を「採点結果集計シート」に入力すると、Part ごとの学級や学年の平均点が自動集計されます。

パフォーマンステスト 採点結果集計シート 2年生東京の見どころ紹介												
生徒番号	2年〇組				2年〇組				2学年平均			
	Part A (3点)	Part B (3点)	態度 (3点)	合計 (9点)	Part A (3点)	Part B (3点)	態度 (3点)	合計 (9点)	Part A 平均	Part B 平均	態度 平均	合計 平均
1				0				0				
2				0				0				
3				0				0				
4				0				0				
5				0				0				
6				0				0				
7				0				0				
8				0				0				
9				0				0				
10				0				0				
11				0				0				
12				0				0				

テスト結果の活用

各テストの結果から、生徒の学習が不十分である内容を考察するとともに、今後どのような指導を行うことが必要かを考えていくことが重要です。

Part A のような、生徒に事前に準備させてスピーキングテストに取り組ませるようなタスクが十分ではない場合、授業の中で、生徒に英語を聞かせたり、一人一人に発話させたりする機会をつくってきたかを振り返り、身に付いていないことについては、実際に英語を使うことを通じて定着を図る必要があります。

また、「電話でのやりとり」などのロールプレイングや Part B のような、面接官から質問されたり指示されたりしたことにその場で対応するようなタスクについては、生徒が複数の単元を通して学んだことを総合的に生かして、生徒が自ら表現する機会をつくってきたかを振り返り、十分ではない場合は、そのような活動を年間指導計画の中に位置付ける必要があります。

指導の改善を行った後に、もう一度同じテストを実施することで、生徒の力が向上したことを確認することができます。第1回のテストでできなかったことが第2回のテストでできるようになることで、生徒に達成感をもたせることにつながります。

授業改善につなげる例

例1 Where～?や When～?で始まる質問に答えることが十分にできていない。

課題 「自己紹介」Part Bの結果からは、Where～?や When～?で始まる質問に対して答えることができていない生徒が多いことが分かった。

指導の工夫1 授業のウォームアップとして行う Q and A で、「教師からの質問に、分かったら挙手をして、指名されて答えられたら、その列の生徒全員が座ることができる。」などのルールでゲーム的な活動を計画し、楽しみながら一定期間継続して実施できるように指導する。

指導の工夫2 生徒の全員がテストの Part A で取り組んだ自己紹介を ALT に行う。その後、ALT から自己紹介の内容に関連する質問を行い、それに対して答える取組を行う。
※少人数の学習集団であることを十分に生かし、授業の中で生徒が発話できる機会をこれまで以上に増やして、日常的に指導していく。

例2 町を紹介するために必要な表現を十分に活用できていない。

課題 「東京の見どころ紹介」Part Aの結果からは、町を紹介するために必要な表現を活用することができていない生徒が多いことが分かった。

指導の工夫1 There is / are～. など、町を紹介するために必要な表現が使われている教科書の本文テキストを復習する。音読した後、本を閉じ、本文テキストに関連するピクチャー（町の絵等）を見ながら、その町について説明したり、自分の意見を付け加えて伝えたりする活動を継続して行う。

指導の工夫2 上記の取組で生徒が自分で言えるようになった文をノートに書かせる取組を行い、表現の定着を図る。また、「こんなことを言いたかった。」という表現をワークシートに日本語で記入させ、それに対してアドバイスを行うなど、生徒が伝えたいと思っていることを実現できるよう、きめ細かく指導する。

本リーフレット「パフォーマンステストを活用した指導の充実に向けて」は東京都教育委員会ホームページに掲載されています。

学び応援ページ



中学校英語科

平成 28 年 8 月

「パフォーマンステストを活用した指導の充実に向けて」

東京都教育委員会印刷物登録 平成 28 年度 第 65 号

編集・発行 東京都教育庁指導部義務教育指導課

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。